

新型コロナウイルスについて（説明書）

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症が発症すると、熱や咳といった風邪によく似た症状がみられます。軽症の方、治癒する方も多いですが、症状が重くなると、呼吸困難や肺炎が重症化し、死亡にいたる場合もあります。

新型コロナウイルス事業について

- ・今回接種するワクチンはファイザー製のワクチンです。本ワクチンの事業は国および地方自治体による新型コロナウイルスワクチン接種事業の一環として行われます。
- ・本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。
- ・本ワクチンは16歳以上の方が対象です。
- ・本ワクチンは優先接種対象者の方々から順に開始されます。
 1. 医療従事者等
 2. 高齢者の方
 3. 基礎疾患のある方／高齢者施設などで従事する方
 4. 1～3以外の方

新型コロナウイルスの特徴

- ・本ワクチンはメッセージーRNA（mRNA）ワクチンという種類のワクチンです。（販売名コミナティ[®]筋注）
mRNA ワクチンでは、ウイルスのタンパク質を作る基になる情報の一部を注射します。人の体の中で、この情報を基に、ウイルスのタンパク質の一部が作られ、それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。
- ・私たちがもつ体内の異物を攻撃する免疫の仕組みを利用して、新型コロナウイルス感染症を予防します。
- ・本ワクチンは1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を受ける必要があります。

新型コロナウイルスの有効性

- ・本ワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。（発症予防効果は約95%と報告されています。）
- ・本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスク着用、密集、密接及び密閉の回避、手洗いや咳エチケット等）が必要です。（感染を予防する効果は評価されていません。）

*本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度と
考えてください。

新型コロナウイルス接種にあたっての注意点

- ・本ワクチンは2回接種する必要があります。（1回0.3mlを合計2回筋肉内に接種）
- ・1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。
- ・1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず本ワクチンの接種を受けてください。

新型コロナウイルスの接種が受けられない方

- ①明らかに発熱している方
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある方
- ④上記以外で、予防接種を受けることが不適応な状態にある方

新型コロナワクチン接種にあたって注意が必要となる方

- ①抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ②過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ③心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状がでた方
- ⑤過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑥本ワクチンの成分に対して、アレルギーがおこるおそれがある方
- ⑦腎機能障害のある方
- ⑧肝機能障害のある方

新型コロナワクチンの安全性（副反応）

《接種後、数日以内に現れる可能性がある症状》

発現割合	症 状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の晴れ
1～10%	吐き気、嘔吐

- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
- ・これらの症状の大部分は、接種直後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- ・接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。

《接種後、すぐに現れる可能性のある症状について》

○アナフィラキシー

- ・薬や食べ物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
- ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックとよびます。
- ・起こることはまれですが、接種後にアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場では、適切な医療体制を整備しています。

○血管迷走神経反射

- ・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時には気を失うことがあります。
- ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
- ・倒れてもケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

新型コロナワクチンを接種してからの過ごし方

- ・本ワクチンの接種を受けた後しばらくの間は、接種を受けた会場でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師、看護師等へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます）
- ・本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策が必要です。
- ・接種した部位は清潔に保つようにしましょう。
- ・接種当日の入浴は問題ありませんが注射した部位はこすらないようにしましょう。
- ・当日の激しい運動は控えましょう。

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費、障害年金の給付など）が受けられます。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、

厚生労働省

厚生労働省のホームページ (<https://www.mhlw.go.jp>) をご覧ください。